

2025年3月24日
出光音楽賞実行委員会
出光興産株式会社
株式会社テレビ朝日

第34回出光音楽賞 受賞者決定

出光音楽賞実行委員会※（理事長：木藤 俊一）は、第34回「出光音楽賞」の受賞者を以下の3名に決定しました。受賞者には賞金300万円を贈呈します。今後、授賞式と受賞者による「出光音楽賞受賞者ガラコンサート」（日時・会場未定）を開催し、その模様はテレビ朝日系「題名のない音楽会」で放送予定です。コンサートの詳細については、決定次第お知らせします。

「[出光音楽賞](#)」は、1964年に放送を開始した「題名のない音楽会」の25周年を記念し1990年に創設された、出光興産株式会社が主催する音楽賞です。主にクラシックの音楽活動を対象に、意欲・素質・将来性などに重きを置き、若手かつ新進気鋭の音楽家を表彰しています。今後も本音楽賞を通じて将来有望な音楽家を支援します。

【受賞者と選考理由】（五十音順／敬称略、年齢は2024年12月31日現在）

■金川 真弓（かながわ まゆみ）ヴァイオリン／30歳

深みのある表現力、豊かな響きが素晴らしい。演奏に情感があり、気品も兼ね備えている。多彩な魅力に溢れ、有望な才能の持ち主である。

■北村 陽（きたむら よう）チェロ／20歳

伸びやかな音色に魅力がある。抜群の安定感を誇る演奏テクニックは突出しており、今後のさらなる成長にも期待ができる。

■宮里 直樹（みやさと なおき）テノール／37歳

日本人テノールの中で異彩を放つパワフルな歌声を持っている。演技力も優れており、日本オペラ界の中心的役割を担う素質を持っている。

※出光音楽賞実行委員会

出光興産株式会社、株式会社テレビ朝日、専門家で構成された若手音楽家を支援するための組織

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/ip/contact/newsrelease_flow/index.html

【参考】受賞者プロフィール

五十音順／敬称略、年齢は 2024 年 12 月 31 日現在

かながわ まゆみ
■金川 真弓 (ヴァイオリン／30 歳)



1994 年 8 月 31 日、ドイツ連邦共和国フランクフルト出身

受賞歴

2018 年 ロン＝ティボー国際音楽コンクール第 2 位入賞および最優秀協奏曲賞受賞

2019 年 チャイコフスキー国際コンクール第 4 位入賞

2024 年 ジョルジュ・エネスク国際コンクール優勝およびジョルジュ・エネスク・ソナタ
賞受賞

これまでに、プラハ放送交響楽団、マリンスキー劇場管弦楽団、ドイツ・カンマーフィルハーモニー管弦楽団、フィンランド放送交響楽団、ベルギー国立管弦楽団、フランス国立ロワール管弦楽団、モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団等と、日本では、NHK 交響楽団、読売日本交響楽団、東京都交響楽団、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、札幌交響楽団、山形交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団、京都市交響楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、広島交響楽団、九州交響楽団に客演し、ハンヌ・リントゥ、セバスティアン・ヴァイグレ、ユーリ・シモノフ、パスカル・ロフェ、アレクサンダー・シェリー、ヒュー・ウルフ、モDESTAS・ピトレナス、カーチン・ウォン、アンドリュウ・リットン、ケン＝デイヴィッド・マズア、ヴァシリー・シナイスキー、リオ・クオクマン、エリアス・グランディ、トーマス・ダウスゴー、シルヴァン・カンブルラン、尾高忠明、秋山和慶、小泉和裕、小林研一郎、

井上道義、広上淳一、沼尻竜典、飯森範親、川瀬賢太郎、山下一史、杉山洋一、横山奏等の指揮者と共演する。

レパートリーも多彩でスタンダードなものはもちろん、ベルク、ウォルトン、一柳慧、藤倉大などの 20 世紀～21 世紀にかけての現代曲も演奏。

室内楽やアウトリーチでは、トランス＝シベリア芸術祭やヴェルビエ音楽祭等のほか、トナリ・ツアーズのドイツ・ツアーに出演した。日本でのシャネル・ピグマリオン・デイズでの公演も好評を得る。東京・春・音楽祭や PMF 札幌、最近ではラインガウ音楽祭にも出演した。ベルリンでは現代音楽も重視する室内楽のシリーズ **Tonhain Kollektiv** に参加。頻繁に共演するピアニストとして、2023 年にエクストン・レーベルよりリリースしたデビュー・アルバム『リサイタル(RECITAL)』で共演したジュゼッペ・グアレーラや、サントリーホールで定期的に行われるチェンバーミュージック・ガーデンをきっかけに小菅優ともたびたび共演。

2024 年、第 34 回 日本製鉄音楽賞《フレッシュアーティスト賞》受賞。

4 歳から日本でヴァイオリンを始め、その後ニューヨークを経て、12 歳でロサンゼルスに移る。現在はベルリンを拠点に演奏活動を展開する。ハンス・アイスラー音楽大学ベルリンでコリヤ・ブラッハーに、また名倉淑子、川崎雅夫、ロバート・リップセットの各氏に師事。2023 年 10 月よりブレーメン芸術大学で教え始め、また現在、エル・システムジャパン弦楽リボン・児童養護施設プロジェクトにスペシャルサポーターとして参加し、芸術環境向上に寄与。

使用楽器は、日本音楽財団貸与のストラディヴァリウス「ウィルヘルミ」(1725 年製)。

きたむら よう
■北村 陽 (チェロ / 20 歳)



2004 年 4 月 10 日、兵庫県西宮市出身

学歴

2023年3月桐朋女子高等学校音楽科(男女共学)卒業

2025年1月現在 ベルリン芸術大学、桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コース在籍

受賞歴

2017年 第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクール 第1位

2022年 第18回ハチャトゥリャン国際コンクール 第2位

2023年 ヨハネス・ブラームス国際コンクール 第1位

同年 第92回日本音楽コンクールチェロ部門 第1位

2024年 パブロ・カザルス国際賞 第1位

同年 ジョルジュ・エネスク国際コンクール 第1位

現在20歳の北村陽は、2024年11月、権威ある国際コンクールのひとつ、パブロ・カザルス国際賞で第1位を獲得した。このコンクールは巨匠カザルスの名を冠し、カザルス財団主催により生まれ故郷であるスペイン・カタルーニャで開催されている。また同年9月、権威ある国際コンクールとされるルーマニア政府主催のジョルジュ・エネスク国際コンクールチェロ部門で、日本人初優勝の快挙を成し遂げ、世界的に注目を集める。2023年には、ヨハネス・ブラームス国際コンクール(オーストリア)、第92回日本音楽コンクールで優勝。全部門を通じて最も印象的な奏者に贈られる増沢賞をはじめ、岩谷賞(聴衆賞)、黒柳賞、徳永賞、INPEX賞も併せて受賞。今、最も勢いがある注目のチェリストである。2022年、第18回ハチャトゥリャン国際コンクール第2位。2017年、第10回若い音楽家のためのチャイコフスキー国際コンクールにおいて13歳で満場一致の優勝を果たす。現在、ベルリン芸術大学にてイエンス＝ペーター・マインツ、桐朋学園大学音楽学部ソリスト・ディプロマ・コースにて特待生として堤剛各氏に師事。これまでに山崎伸子、太田真実、ギア・ケオシヴィリ、室内楽を磯村和英各氏に師事。クロンベルク・アカデミーにて3度、チェロ・アカデミー・ルーテスハイムにおいても選抜されマスタークラスを受講。その他に、ヴォルフガング・ベッチャー、ダヴィド・ゲリングス、ステイーヴン・イッサーリス、フィリップ・ミュレール、ミッシェル・マイスキー、マリオ・ブルネロ、イ・カンホ、クラウディオ・ボルケス各氏のマスタークラスを受講した。9歳でオーケストラと初共演し、翌年初リサイタルを行う。また、高齢者施設や地域の公共施設などでリサイタルを行い、オーケストラメンバーとして東日本大震災の被災地で演奏した。これまでに読売日本交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、東京交響楽団、関西フィルハーモニー管弦楽団、大阪フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、山形交響楽団、中部フィルハーモニー交響楽団、兵庫芸術文化センター管弦楽団、横浜シンフォニエッタ、北チェコ・フィルハーモニー管弦楽団テプリツェ、ルーマニア国立放送管弦楽団、チェコ室内管弦楽

団パルドビツェ、ユーラシア交響楽団と、小林研一郎、井上道義、高関健、大友直人、藤岡幸夫、阪哲朗、小林資典、海老原光、岩村力、角田鋼亮、田中祐子、栗辻聡、坂入健司郎、アンドレイ・フェーヘル、アルフレッド・ソリケッティ、ユーリー・トカチェンコ、ミハイル・ゴリコフ、ジョナサン・ブックスハム、ピョートル・ヤヴォルスキ各氏の指揮によりソリストとして共演。2020年ユリアン・シュテッケルの代役として井上道義指揮、読売日本交響楽団と共演し好評を博す。テレビ朝日「題名のない音楽会」には、「佐渡×スーパーキッズ 10周年～安藤美姫と夢を語れ」(2014)に出演し、佐渡裕とスーパーキッズ・オーケストラ最年少メンバーとしてチェロのソロ演奏を披露。「神童たちの音楽会 2017」(2017)、「日本最高峰のチェリスト・堤剛の音楽会」(2022)、「宮田大 12人のチェリストたちの音楽会」(2024)など出演した。また、BS テレ東「エンター・ザ・ミュージック」、BS 朝日「はじめてのクラシック 2019 チャイコフスキーの魅力」、NHK-FM「リサイタル・ノヴァ」「ブラボー！オーケストラ」、Tokyo FM「Blue Ocean」、ABC ラジオ「堀江政生のザ・シンフォニーホール・アワー」など出演。2021年霧島国際音楽祭受賞。

2024年アリオン音楽賞受賞。遠山基金、宗次エンジェル基金／日本演奏連盟、ヤマハ音楽振興会、ジェスク音楽文化振興会、江崎スカラシップより奨学金を授与され、第52回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生、2023、2024年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。使用楽器は上野製薬株式会社より貸与された1668年製カッシーニ。

みやさと なおき
■宮里 直樹 (テノール／37歳)



1987年6月16日、東京都世田谷区出身

幼少期よりヴァイオリニストの両親からヴァイオリンの手ほどきを受ける。高校入学時に市民オーケストラ団体のジュニア・フィルハーモニック・オーケストラに入団。高校3年生の夏に声楽に転向。

東京藝術大学首席卒業。卒業時に大賀典雄賞、松田トシ賞、アカンサス賞、同声会賞受賞。

同大学大学院音楽研究科修士課程オペラ専攻修了。

2014年度公益財団法人明治安田クオリティオブライフ文化財団の海外音楽研修生として渡欧。ウィーン国立音楽大学オペラ科にて2年間学ぶ。

2015年度公益財団法人ローム ミュージック ファンデーション奨学生。

第23回リッカルド・ザンドナーイコンコルソ第2位受賞

第48回日伊声楽コンコルソ第1位、五十嵐喜芳賞、歌曲賞受賞

第10回東京音楽コンクール声楽部門第2位(1位なし)同時に聴衆賞受賞

第62回全日本学生音楽コンクール声楽部門大学・一般の部全国大会第2位同時に横浜市民賞受賞

第29回ソレイユ声楽コンクール第1位音楽現代新人賞受賞

第14回“長江杯”国際音楽コンクール声楽部門大学の部第1位中華人民共和国駐大阪総領事賞受賞

第28回アジア国際音楽コンサートにて金賞 テノール特別賞受賞

その他受賞歴多数

これまでに秋山和慶、小泉和裕、小林研一郎、尾高忠明、A.バッティストーニなど著名指揮者のもとNHK交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京交響楽団、九州交響楽団など国内主要オーケストラと数多く共演。その他上海交響楽団、チャイナ・フィルハーモニー管弦楽団、リヴィウ国立フィルハーモニー交響楽団と共演。

オペラでは、佐藤眞作曲コンサートオペラ『ディオニュソス』初演にてキツを務めた他、『ドン・ジョヴァンニ』ドン・オッターヴィオ、『ランスへの旅』リーベンスコフ伯爵、『ファルスタッフ』フェントン、『トスカ』カヴァラドッシ等を演じている。

2016年藤原歌劇団公演『愛の妙薬』でネモリーノを演じ、2017年6月 NISSAY OPERA 2017『ラ・ボエーム』にはロドルフォで出演。同年10月、二期会公演『蝶々夫人』でピンカートンを演じ、二期会デビューを飾った。最近では2020年東京芸術劇場シアターオペラ/全国共同制作オペラ『ラ・トラヴィアータ(椿姫)』にアルフレードで出演し、喝采を浴びた。

コンサートでは、バッハ「マニフィカト」、「口短調ミサ」、ヘンデル「メサイア」、ハイ든「天地創造」、モーツァルト「戴冠ミサ」、ベートーヴェン「第九」、「荘厳ミサ曲」、メンデルスゾーン「聖パウロ」、「交響曲第2番《讃歌》」、ロッシーニ「スターバト・マーテ

ル]、ヴェルディ「レクイエム」、ドヴォルザーク「スターバト・マーテル」、マーラー「交響曲第 8 番」、「大地の歌」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」、ベルリオーズ「レクイエム」、プッチーニ「グローリア・ミサ」等で活躍している。

2011 年には、外務省主催の天皇誕生日祝賀レセプションにて国歌独唱を務めた。

また、2020 年 1 月「NHK ニューイヤーオペラコンサート」に初出演を果たした。

2020 年 11 月 NISSAY OPERA 2020 『ランメルモールのルチア』にエドガルド、2022 年 9 月東京二期会オペラ『蝶々夫人』ピンカートン、2023 年 5 月宮崎国際音楽祭『仮面舞踏会』リッカルド、同年 7 月新国立劇場『ラ・ボエーム』ロドルフォ、同年 11 月 NISSAY OPERA 2023 『マクベス』マクダフ、同年 11 月藤沢市民オペラ 50 周年記念『オテッロ』タイトルロールを演じ、新進気鋭の若手テノールとして注目を集める。
二期会会員。